

## 第3回府中市市民協働推進会議 会議録

- 日 時 平成29年7月31日（月）午前10時～正午
- 会 場 市役所北庁舎3階第2会議室
- 出席者 （委員）  
藤江会長、長谷部副会長、荒金委員、井上委員、奥村委員、木村委員、  
草郷委員、谷本委員、長島委員、宮坂委員、吉井委員  
（事務局）  
中川市民協働推進部長、前澤協働推進課長、金崎協働推進課長補佐兼  
都市交流担当副主幹兼支援係長、新妻協働推進係長、黒田事務職員、  
高田事務職員
- 欠席者 なし
- 傍聴者 2名
- 議 事
  - 1 開会
  - 2 議題
    - (1) 評価作業（2）第三者評価シートの作成及び答申案作成
    - (2) 各部会の検討状況について
      - ア 提案型協働事業選考部会
      - イ 市民協働推進行動計画中間見直し検討部会
    - (3) 平成30年度提案型協働事業の応募状況等について
    - (4) 平成28年度協働事業等調査結果について
    - (5) 市民協働の推進に関する条例の可否を含めた検討について
    - (6) その他
- 資 料
  - 1 府中市協働事業 第三者評価シート（協働事業・案）
  - 2 府中市協働事業 第三者評価シート（平成28年度市民提案型協働事業・案）
  - 3 市民協働推進行動計画中間見直しについて
  - 4 平成30年度市民提案型協働事業応募内容一覧
  - 5 平成28年度協働に関する調査結果

## 1 開会

(会長) 定刻になりましたので、第3回府中市市民協働推進会議を開会します。  
事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、また、お暑い中本会議にご出席いただき、ありがとうございます。事務局から何点かご報告を申し上げます。

まず、本日の出席状況でございますが、委員の皆様全員にご出席をいただいております。

続きまして、本日の傍聴ですが、現在までに2名のご応募をいただいております。傍聴の許可につきまして、本会議のご判断をいただきたいと存じます。

(会長) 委員の皆さんにお諮りしますが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) それでは、意義がないということですので、傍聴を許可します。

事務局は会場への誘導をお願いします。

(※事務局より資料の確認)

(事務局) 最後に、本日の流れについてでございます。

本日の議題については、5点ございます。

1点目が、第三者評価シートの作成及び答申案の作成についてで、前回のヒアリングの状況等について、各グループで実施した評価結果の共有を行っていただき、市民協働推進会議として第三者評価シートを作成いただきます。

また、事前に送付いたしました、「協働事業評価答申案検討シート」を活用いただき、評価作業を通して感じたことや評価を終えての感想や改善点など、答申の基礎となるご意見を頂戴したいと考えております。

2点目が、各部会の検討状況についてご報告いただくもので、3点目が、平成30年度の提案型協働事業の応募状況等についてご報告するもの、4点目が、平成28年度の協働事業等調査結果についてご報告するもの、そして5点目が市民協働の推進に関する条例の要否を含めた検討についてご議論いただく予定でございます。

事務局からは以上でございます。よろしくお願いたします。

(会長) 事務局から説明があったとおり、今日は審議事項が2件、報告事項が3件と、議題が多いので、早速、議事を進めます。

前回7月20日に実施した第2回目の会議の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、修正等でお気づきになることはございますか。

(事務局) 先程、委員より議事録の次回会議開催時間に誤りがあるとの指摘をいただきましたのでご報告します。大変失礼いたしました。訂正いたします。

(会長) よろしいでしょうか。それでは、訂正をした上で、第2回目の議事録とし

て確定いたします。

なお、会議の議事録及び資料は、市役所の情報公開室及び市ホームページで公開されますので、ご承知おきください。

事務局は、前回の議事録及び資料を、公開するよう手続きをお願いします。

## 2 議題

### (1) 評価作業 (2) 第三者評価シートの作成及び答申案作成

(会長) これより議題に入ります。第三者評価シートの作成及び答申案作成について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) まず、先日のヒアリングは、大変お疲れ様でした。

先にお伝えしたとおり、本日は、前回のヒアリングの状況等について、各グループで実施した評価結果について情報共有していただいたうえで、意見交換を行い、第三者評価シートの修正を行います。

その後、事前に各自でご検討いただいた「協働事業評価答申案検討シート」をもとに、個別の評価を通して感じたことや評価を終えての感想や改善点などを共有し、答申の基礎となるご意見をいただきたいと考えております。

なお、答申案の構成としては、参考1で添付しております昨年度の答申と同様に、評価に当たっての視点や感想、改善点などの総評、各事業の第三者シート、そして、平成30年度提案型協働事業選考結果、行動計画中間見直し、市民協働の推進に関する条例の要否を含めた検討結果と、資料編として、当会議の委員名簿、主な検討経過、協働事業等評価実施基準、評価シートの様式、市民提案型協働事業補助金交付要綱、委員意見などで、資料編も含めるとおよそ80ページ前後になるのではと想定しております。

今回の会議では、資料として、全体をまとめた答申案の形でご提示することができればと考えておりますので、よろしく願います。

それでは、資料1をご覧ください。

前回の会議において、グループに分かれて事業のヒアリングを行っていたいただいたのち、各グループでの意見交換を踏まえ、評価作業を行っていただきました。

詳細につきましては、各グループの委員にご報告いただければと思いますが、参考として、質疑応答や評価に関する意見交換を添付しておりますので、適宜ご参照ください。

事務局からは以上でございます。

(会長) 今回の会議では、会議全体として第三者評価シートを作成することと、答申案の意見出しが中心となります。

まずは、各事業について情報共有ということで、各グループの評価のバランスを考慮する意味も含めて、各グループの発表を聞いたうえで、質疑

応答を行い、本会議として各事業の評価結果を決定したいと考えています。

その後、全体を通じて感じたことなどについて、意見をいただく、という流れで進めたいと思いますがいかがでしょうか。

それでは、1グループの事業についてご報告をお願いします。

(委員) 1グループは、元気いっぱいサポート事業、ごみ減量・3R推進大会について、ヒアリングを実施しました。

元気いっぱいサポート事業については、評価Bとしました。

これは、一言でいうと、将来性のある事業ですが、一部改善する余地があるので、今後、検討していただきたいとの意見がありました。

具体的な内容につきましては、資料1にまとめられているとおりです。

問題点としては、参加人数が少ないので、今後参加人数の拡大を検討して欲しいという点がありました。市と、参加する市民とのコミュニケーションの更なる充実を図ってほしいという意見も出ました。予算が、ほとんど人件費に充当されているということなので、具体的な内容を伺ったところ、今回はノルディックの講師への謝礼金ということで、今後も講師に対する謝礼金の充当が必要となるということで、市だけでなく、市民から寄附等を募るなど、事業の拡大に努めていただきたいという意見がありました。いずれにしても、協働事業として適切であるが、今後一部改善によって、更なる発展が期待できるという結論になりました。

次に、ごみ減量・3R推進大会についてですが、この事業は長い歴史のあるという説明がありました。府中市がこれまで、ごみ減量に取り組んできた一環として、府中市自治会連合会と連携しながら、この事業を推進しているということです。

具体的に言えば、ごみ減量・3R推進大会を開催することが主たる目的となっていて、当初の目的が少し変わってきている中で、全体としてマンネリ化している事業だという印象を受けました。

したがって、新規事業を取り入れ、事業の活性化を図ってほしいという意見がありました。

府中市自治会連合会が中心となって実施しているが、自治会に参加していない市民の方が十分に関わっていないので、そのような点を改善してほしいという意見がありました。

また、現在、開催場所は中心部となっているが、全市的に取り組んでいくという観点から、文化センターにおける開催についても検討して欲しいという意見もありました。

その結果、今後の改善を期待し、評価をDとしました。

(会長) では、次に第2グループの事業について、ご報告をお願いします。

(委員) 福祉まつりは府中市社会福祉協議会と市が一緒に行っている事業で、印象的だったのが、市が府中市社会福祉協議会をすごく理解しており、事業

がうまくいっていることが伺えました。

昨年もこの事業を評価されていたようですが、「昨年の評価が低かったの  
で、改善するようにやってきました。」という話があり、好感が持てました。

質疑を行って行く中で、人数が増えているし、会合なども行っていて、  
情報共有が盛んであるという話がありました。

担当委員からは、市と府中市社会福祉協議会の協働だけでなく、参加さ  
れた方々とも、もっと協働していけたら良いのではないかというレベルの  
高い意見もありました。

評価をBとしたのは、今後の協働の見本となって欲しいという期待を込  
めたもので、ほとんどAに近いBです。

姉妹都市佐久穂町森林間伐体験事業は、前の事業と比べると、委託事業  
のような雰囲気を感じました。市が、少し資金を提供し、東京武蔵府中ロ  
ータークラブが自分たちの思い中で実施している事業だと思いました。

参加人数的にも、54名と言われていましたが、基本的には定員を抽選  
で実施している人気の事業となっており、良い事業だと思いました。

また、お金に関する記載はあまりありませんでしたが、基本的には東京  
武蔵府中ロータリークラブがお金を出して、実施している部分もあり、継  
続事業としても悪くないと思いました。

一方、市がどれくらい関わっているかということ、当日も参加しているよ  
うですが、それまでの経緯でいうと、前の福祉まつりと比べると、コミュ  
ニケーションが足りないというよりは、あまり必要がないくらいまで事業  
が発展していて、出来上がった事業だと感じました。

もっと高い要求をするならば、他の子供たちに、結果を報告するような  
勉強会を実施したらいいのではないかなど、プラスアルファのことをやっ  
ていけるのではないかという意見があり、評価としては、Aとしても良い  
事業だと思うのですが、Bとしました。

(会長) ありがとうございます。では、次に第3グループの事業について、ご  
報告をお願いいたします。

(委員) 第3グループは、ラグビーのまち府中推進事業の評価をしました。

まず、印象としては、市とラグビーのまち府中推進委員会がよくコミュ  
ニケーションできているという印象を感じました。

評価結論としては、Aにつながるように、もう少し改善して欲しいとい  
う期待を込めたBとしました。

皆さんが、ラグビーを活用して、地域活性化を図っていくという目標に  
向かって、それぞれの団体がお互い情報共有、コミュニケーションを図り、  
協力して進めていると感じました。活動が始まって1年ということで、1  
年でこれだけ多くのことに活動を展開している点は高く評価できると感じ  
ました。

ただ、事業目標が4つあり、全体としてまとまりに欠ける印象を受けたので、その中で、軸となるような目標を定めて、活動していただくと良いと思います。

協働の広がりという面では、一般市民を巻き込んだ協働を進めていただけたら、なお良いと感じています。スポーツということで、一般市民が気軽に参加しやすいボランティアなどといったことも、できるのではないかという可能性も感じ、もう少し改善の余地があるということからも、評価をBとしました。

(会長) ありがとうございます。5つの事業について、それぞれ担当のグループからご報告をいただきました。これから質疑応答に移りたいと思いますが、5つ事業がありますので、質問のある委員の方は、事業名を言っていて、それについて質問等をお願いしたいと思います。

それでは、質問等ございますでしょうか。

(副会長) ごみ減量・3R推進大会ですが、これだけD評価がついていることが気になりました。報告を聞いていて、この事業がDになる基準が他の事業とあまり変わらない感じを受けました。委員の説明を聞いて、事業内容の評価として良いかという点では、D評価で良いかと思いましたが、協働という観点から評価した時に、市側と府中市自治会連合会とのコミュニケーションが足りなかつたとか、全然お互いを理解していない状態で事業を実施しているとかによって、評価が厳しく出ているのかといったことを詳しく伺いたいです。

(委員) この事業は歴史ある事業で、府中市に協働という概念が生まれる前から実施されていたので、経験の蓄積があるべきだと思います。

お話を伺っている限り、事業の開催が目的となっていて、今までの経験の蓄積をフィードバックしていくことを協働に置き換えると欠けていると感じました。

併せて、府中市自治会連合会がイコール府中市民だというようなお話をされたのですが、実際はそうではないと思います。府中市民の中には、自治会に入っていない方も多くいらっしゃいますので、自治会イコール市民という発想でやっていく限り、この事業の発展性はないと感じました。

したがって、グリーンプラザだけではなく、他の市民の方がより参加できるように、文化センターでも開催するなどの取り組みが必要であり、同時に意識の改革が必要であるという点がD評価につながりました。

私は、C評価としたのですが、その理由は、ごみ減量というのは府中市の大きな施策の柱というのもあり、地球環境保全の観点からも事業自体は悪いものではないと思います。

しかし、問題点が多々あるので、改善を要するといったことから、Dという評価をつけました。

(委員) 最初に印象として思ったのが、施策や事業自体が市主体で実施していて、長年、府中市自治会連合会と一緒に実施していますが、コミュニケーションを取る場は具体的にあるのかという質問をしたところ、実行委員会などはないとのことで、全体共有が不足していると感じました。

市としては、その点を課題として感じていて、実行委員会のような会の開催を考えているとのことでしたが、その課題共有もできていないと感じました。次年度で、そういった点も改善したいという思いも伝わりましたが、昨年度の活動の中では、共通理解、目的共有が不足していたと感じましたし、事業の見直しという点で、府中市自治会連合会だけでなく、子ども会など教育の場にもつなげて、ごみという課題について考え直すという機会にもなって欲しいと思いましたので、厳しいですが、D評価をつけました。

(会長) 5つの事業の評価について、共通の基準、特に協働についての評価という切り口が強く出ているので、副会長の質問と、委員の回答は協働の進め方として、すでに行われている事業の評価をするという部分と、今後いいものにしていただくということで、課題や目的を共有して実施していける形になっていくのかという確証が持てるのかという点も評価に反映したようですが、今の部分、あるいは全体の評価についてその他の委員の方意見はありますか。

Bでも、AにつながるようなBといった説明もありましたし、CやDについても細かいところがあって、それぞれの評価の間の空間があるならば、どういったものなのかというのもあるのですが、委員の中でCの評価とDの評価があったということで、市民の巻き込みということも含めた、取り組みの工夫などを議論して、いいものにつなげていただきたいということで、ショック療法的にD評価という意味もあるのかなという理解でよろしいでしょうか。

ごみ減量推進委員の方たちが、地域に情報を発信するために推進大会が発足してきて、それが、ノウハウの蓄積という意味では、整っていないということでした。

市民一人一人が自覚的に取り組む課題なので、自治会を通してということだけでは補いきれないという変化があると思います。

(委員) 過去に、DやEの評価を受けた団体はありますか。

(事務局) 平成27年に市民提案型協働事業の中で1つD評価がありました。

ただ、それについては、情報共有もコミュニケーションもできておらず、組織の違いも理解できないことから、「もうこの課とは一緒にやりたくない」となってしまったもので、目的共有はできていたものの、そういった理由から、協働の観点でD評価となりました。

また、E評価がついた事業はありません。

(委員) ダストボックスから、個別回収に変わった時に、各文化センターで議論があったと聞いています。

個別回収に移行してから、この事業に力を入れる時に、市が呼び込むための団体として、どこに声を掛けるかということで、町会を仕切っている府中市自治会連合会に声が掛かったが、府中市自治会連合会には全町会が属しているわけではないので、そういったところに問題があったのではないかと思います。

今、ごみ減量推進課から、各町会でごみ減量対策委員を推薦してくださいと言われていますが、そこに手を挙げる人があまりいないのが現状です。

自治会として、年1回のごみ減量・3R推進大会の周知は行っていますが、具体的などころが今一つ欠けているかと思っています。

今のままの、イベントを開催するだけのシステムだと、改善の余地があると感じます。

(委員) 参加者がシニア世代ばかりですが、ごみ減量は本来すべての世代にとって重要な問題だと思います。一部の方に、年1回の大会開催というのは、協働、市民参加から外れると思います。先程、委員がお話しされたように、教育の現場など、もっと若い世代を含めた、全市民が参加できるような協働の形にあり方を見直すべきではないかと思っています。

(会長) どうでしょうか。他に意見などございますか。

(委員) 先程、事務局に伺って、D評価の事業を思い出したのですが、市が歩み寄ろうとしても、団体側に協働の意識が欠けていて、かなり協働が難しい事業でした。そこが、D評価だったので、この事業も同じ感じなのかなと思ってしまうのですが、うまく歩み寄って次につなげていくということでは、よく考えてD評価をつけるのが良いのではないかと思いました。

過去のD評価は、正直ひどかったもので、その辺りも考慮して検討していただけたらと思います。

(委員) シニアが多いからというのは違うと思います。ごみ減量・3R推進大会に参加した方は分かると思いますが、標語募集をやっていて、小学生を対象に標語を集めて、優秀作などの表彰なども行っています。そういう点がヒアリングの時にあったのか、時間が短くて、表面的な話だけで終わってしまったのではないかと思いました。

私も、ラグビーの方で感じたのは、資料に写真が多くて情報が少なく、内容がいまいち分からないので、もうすこし資料に情報を書きいただければ、質問できますし、説明者側も時間が短いと表面のことしか言えないということも、この評価につながっているのではないかと思います。

ただ、ごみ減量・3R推進大会について、自分が参加しているのは、毎年同じことを一か所で実施しているので、内容を見直し、各所で実施すると良いと思います。

(会長) ごみ減量・3R推進大会について他にご意見ございますか。

(委員) ごみ減量・3R推進大会もそうですが、自分のグループの評価を思っていたのが、事業自体の評価をするのか、協働の事業として評価するのか悩んで、いつの間にか自分が、協働の事業としての評価ではなく、事業としての評価をしているときがあり、軌道修正しながら評価をしていて、難しいなと感じました。

先程、ごみ減量・3R推進大会の評価シートを読んで思ったのが、一番は市と団体がコミュニケーションをとって情報共有をしているかというのが協働の中の基本であって、そこができていないかといえ、できていない。

他の事業は市とコミュニケーションをとって、問題はあっても、頑張っていこうという前向きな事業だったと思います。ただ、このごみ減量・3R推進大会は、みんなでやらなきゃいけないという事業で、D評価ではないかと思いました。

実際、コミュニケーションが不足しているというのは、問題であって、会って問題点などについて話し合っていればBやCになっていたと思いますが、コミュニケーションが取れていない時点で論外だと思います。

(副会長) 先程、委員が昨年までどうでしたかということをお聞きしましたが、昨年までのことは、知らない委員もいらっしゃるのではなかとも思いますが、昨年も、この事業と同じように、市が全部やっていて、参加者を増やすために協働している事業があったのですが、それもD評価はついていませんでした。同じ会議が評価していることだけ見ると、昨年と今年で評価基準が変わってしまっていると思います。

(会長) フォーマット、評価基準なども昨年と同じで決めていく中で、具体的にこういう工夫をしてほしいということをお示すことも評価を行う上で大事なことだと思います。

そして、やり取りの中でコミュニケーションとか、組合せという意味では担当課が関わってくることもあるので、市の既存の担当課だけではできない枠組みということも出てくると思いますので、今までとは違った枠組みで取り組んでいただくことが、D評価となった場合も重要な部分であると伝わるように、一部と言いつつも大幅な改善が必要だと指摘しなければいけないと思います。

そうした部分を具体的に追記し、補足していくということで、よろしいでしょうか。

では、その他の事業についての質疑はいかがでしょうか。

(委員) 姉妹都市佐久穂町森林間伐体験事業についてですが、話を伺う中で、Aに近いBという印象を感じたのですが、第三者評価シートに「協働の広がりに係る取組を市民と市が検討いただくことで、更に期待できる事業となる。」とあり、この点が改善されればAに近づくとおっしゃるのですが、この点について、

もう少し詳しく説明いただけますか。

(委員) 関係している方が、40～50人程度なので、他の学校の方など知らない人も多いため、その結果を報告するというようなことをやっても良いのではないかという事です。

(委員) リピーターも少しいるということで、評価されているということだと思います。参加したメンバーが学校に戻った時に、報告をすればより参加者が増え、リピーターを指導員にすることで更に良くなっていくと思えました。

(委員) 若者に事業を広めるには、担当課の環境政策課だけでなく、教育委員会なども連携して実施した方が良いと思います。

市としては、今後そのような働きかけは考えていないのですか。

(会長) この会議で複数の担当課にまたがっている取組に期待する場合には、どのような形で、伝えていけるのかという点についてはいかがでしょうか。

(事務局) 例えば、環境分野だけでなく、教育分野まで協働を広げていけばいいのではないかということは、協働としてはとても素晴らしいことで、協働の主体が広がることで、ネットワークが広がって情報共有ができて、協働の相乗効果が高まってまいりますので、協働の主体が増えていくことは素晴らしいことだと思っております。

なので、例えば、評価でいうのであれば協働の広がり可能性に追記して、教育機関との連動していくことで、協働の相乗効果が発揮されるという様に評価していただけるのであれば、主管課としても協働の更なる充実につながると考えています。

(委員) もう少し、教育委員会や学校を通じて事業への参加を呼び掛ければ、参加する子供の数も増えると思います。

(会長) 先程の記載をより具体的にするという中に、複数の主管課で、行政の中でも主体を複数化していく必要があると思います。

その他いかがでしょうか。

(委員) 委員がお話しされたように、協働の評価と事業の評価は中々、区分できないと思います。

ごみ減量・3R推進大会にしても、一番問題なのは協働ができていないということだと思います。事業自体はまあまあうまくいっているが、協働という面でうまくいっていないのでD評価としているということを追記し、今後協働に力を入れることで、評価も上がると思います。

(会長) その他いかがでしょうか。

ごみ減量・3R推進大会は意識高揚を目的としたイベントで、協働事業としてふさわしくない事業かどうかといえば必ずしもふさわしくない事業ではないという意見があったかと思えます。協働の枠組みを含めたところで、かなりの改善が必要だと委員の方々では意見が一致していると思っております。

これまで、出てきている提案ではAにしても良いのではないかということ  
でBの評価の事業についても、原案の形で出ていますので、それぞれお諮り  
したいと思います。

もちろん、違う意見であれば、おっしゃっていただきたいと思います。

ただ、具体的な評価を書きこむことで、関係者に誤解の無いように伝えて  
いただく、協働事業として扱う必要が無いという事業も、市と協働で実施し  
ている事業の中であるかもしれないので、評価基準の見直しも行う必要があ  
ると思います。

評価については、関係者にこちらの真意を伝えなければいけないので、抽  
象的ではなく、具体的な表現で記載し、お伝えするというのを再確認して、  
お諮りをしたいと思います。

では、順番に元気いっぱいサポート事業については、原案のBという評価  
でよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) ごみ減量・3R推進大会については、原案のD評価でよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) 福祉まつりについては、原案のB評価でよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) 姉妹都市佐久穂町森林間伐体験事業については、B評価でよろしいでし  
ょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) 最後に、ラグビーのまち府中推進事業については、B評価でよろしいでし  
ょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) ありがとうございます。

では、シートについて今日出された意見等について、追記ということになり  
ますが、それについても委員の方にご確認いただき、最終的には会長と副  
会長に一任するというのでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(会長) ありがとうございます。

では、事務局は修正をお願いします。

評価を通して、感想など感じたことを議論したいと思っていたのですが、  
これまでの内容で十分出ていて、より具体的だったと思います。

何か、ここままで意見として出していなかったということであれば、出し  
ていただければと思います。

検討シートにつきましては、ヒアリングを担当された方々に本日記載をし  
ていただくということをお願いいたします。

(2) 各部会の検討状況について

ア 提案型協働事業選考部会

(会長) 続きまして、議題2「各部会からの検討状況」について提案型協働事業選考部会からの検討状況について、部会長からご報告をお願いします。

(部会長) 提案型協働事業選考部会ですが、5月30日に開催された平成28年度の市民提案型協働事業の報告会に出席し、部会として2事業の評価を実施しました。

評価結果については資料2のとおり、ともにB評価「協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる。」としています。

理由として、「平成28年度「参加・体験・感動！ふれあいこどもまつり」は、「事業は芸術文化を身近に触れる機会としてとても良い。協働の視点ではお互いの専門性を尊重するあまり双方相手任せな点があったものの、課題の共有はできている。お互いの理解を深めることで更なる協働の広がりが期待できるといたしました。

次に、「府中農業応援隊」ですが、「市と協働で実施することで、援農につながることであり、協働の成果が得られている。情報共有をより密に行うことで、協働の広がりや更なる事業の発展が期待できる」としました。

いずれも、協働の成果は得られており、情報共有ができているものの、相手を尊重するあまり、一部相手任せになってしまい、情報共有に遅れがあったこと、そしてその点を双方課題として理解いただいているため、今後に期待できることからB評価としたものです。

評価の中で、提案団体から、単年度限りとは承知しているが、継続できるよう応援いただきたいといった意見もありましたので併せてご報告します。

私からは以上ですが、部会員の皆さんから一言、何かありますか。

(会長) ありがとうございます。部会長からご報告がありましたが、いずれもB評価で、双方の課題も共有されていて、評価についても継続して実施していただきたいということでアドバイスをいただきたいということでした。

委員の皆さんはご意見等ございますか。

平成28年度市民提案型協働事業の評価結果はともにB評価ということによろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

イ 市民協働推進行動計画中間見直し検討部会

(会長) 続いて、行動計画中間見直し検討部会からの検討状況について、部会長、お願いします。

(部会長) 行動計画中間見直し検討部会ですが、6月29日と7月12日に開催し、第1回の会議の資料として提出された、進行管理シートをもとに、行動計画に記載の全施策の進捗状況の確認と施策の洗い出しを行いました。

施策の進捗状況ですが、計画通り進んでいないものについては、工事の遅れや組織改正に伴うものなど、理由が明確なものが多いのですが、計画通り進んでいても、制度としてあまり活用されていない状況のものもあり、更に積極的に実施していく必要があるものや、事業の参加者の継続的な活動への結び付けなど、今後の展開に結び付ける必要性があるとの意見がありました。

部会の検討結果としては、資料3のとおりで、検討状況が参考3として添付されていますが、なんとか42の施策を見直したというような状況でした。

検討を進める中で、具体的にどのような事業が協働で行われているか知りたいとの意見があり、後程事務局から説明があると思いますが、資料5の調査結果と参考4のバックデータを、一足先にご提示いただいています。

部会でもまだまだ議論が尽くされておりませんが、この検討結果をもとに、更にブラッシュアップができればと考えております。

部会員の皆さんから補足等ございますか。

(会長) ありがとうございます。部会長から資料をもとに説明がありましたけれども、具体的に質問等ありましたら、推進方策の番号を指定していただいて、ご意見等いただければと思います。

それでは、ご質問、ご意見等ございますか。

この協働事業については自分たちが今やっていることが協働なのかという疑問もまだまだ少なくないと思いますので、具体的な事業も含めて、協働事業についての整理は大事な作業で、部会で検討していただいています。

何かお気づきの点がございましたら、ご指摘いただければと思います。

(部会長) ほとんどの委員が部会に出席されているので、選考部会の委員の方以外は目を通されているという状況ですが、その上で、ご意見はございますか。

(会長) では、すでに出されている意見で次回答申案全般については確認し、議論する時間もあるということで、もし次回までにお気づきの点があれば事務局に出していただくということで、この議題についてはよろしいでしょうか。

### (3) 平成30年度提案型協働事業の応募状況等について

(会長) 続きまして、議題3「平成30年度提案型協働事業の応募状況等」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) それでは、「平成30年度提案型協働事業応募状況」について、ご説明します。

恐れ入りますが、資料4をご覧ください。

平成30年度に実施を希望する事業につきましては、5月11日から、6月2日までの期間を事前相談期間、7月2日を提案書提出期間とし、担当課との三者打合せを経て、最終的に、市民提案型協働事業については3事業、行政提案型協働事業2事業の計5事業となりました。

提案をいただいた各事業の概要について、市民提案型協働事業からご説明

いたします。

1件目の事業ですが、自然エネルギーを考える会により提案された「映画「日本と再生」上映・討論等による府中市スマートエネルギー都市構想実現の機運醸成事業」です。

これは、世界の自然エネルギーの現場取材して制作した映画「日本と再生」(河合弘之監督)の上映及び「府中市でスマートエネルギー都市構想をどう実現するか」について参加者がアドバイスゲストスピーカーとともに討論するものです。

担当課は生活環境部環境政策課でございます。

2件目の事業ですが、こどもの居場所づくり@府中により提案された「広がれ こども食堂 繋がれ 支援のわ～地域で作るこども支援の仕組み」という事業です。

これは、地域で子ども食堂や学習支援、居場所づくりを行っている団体・子ども、子どもの支援活動を行っている関係機関が集まり、現状についての問題を可視化し、解決方法を探る意見交換会及びシンポジウムを実施するとともに、成果としてマップを作成するものです。

担当課は子ども家庭部子育て支援課でございます。

3件目の事業ですが、MOA美術館府中児童作品展実行委員会により提案された「MOA美術館府中児童作品の巡回展示」という事業です。

これは、市内文化センターや介護施設におけるMOA美術館府中児童作品展の受賞作品の巡回展示及び巡回展示での感想をまとめた冊子を作成し配付するものです。

担当課は教育部指導室でございます。

続いて行政提案型協働事業についてご説明いたします。

恐れ入りますが、裏面をご覧ください。

行政提案型協働事業として担当課より提案があったのは2件ございまして、1件目は政策総務部政策課が提案した「東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業」、2件目は都市整備部建築指導課が提案した「地域ぐるみの耐震化事業」でございました。

今回市民より提案があったのは、2件ございましたが、いずれも「東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業」でございまして、「地域ぐるみの耐震化事業」については提案がございませんでした。

1件目の事業ですが、リフレッシュママ府中により提案された「ワークショップ「輝け！みんなのふうせん金メダル」」という事業です。

これは、ふうせんと聞かなくなったCDやDVDなどを利用してふうせん金メダルを作成する出張ワークショップの開催、ワークショップにおいて作成した金メダルのweb紹介などを行うものです。

2件目の事業は、英語でボランティアにより提案された「おもてなしin

府中（在住外国人の和文化体験）」という事業です。

これは、府中市在住外国人の方々に本式の浴衣の着付け体験及び薄茶点前の茶席体験並びに大國魂神社散策を行うものです。

事業についての説明は以上でございますが、この5事業について、8月10日（木）の午後に公開プレゼンテーションを開催いたしますので、提案型協働事業部会員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、井上委員より、商工まつりの関係もあり、8月上旬の会議の出席が難しいと伺っておりますことから、部会員について、本会議のご判断を仰ぎたいと思います。

なお、当日出席が可能な委員ですが、吉井委員、荒金委員、奥村委員、草郷委員、谷本委員と伺っております。事務局からは以上でございます。

(会長) 第1回の会議でもありましたとおり、会議の規則で部会の委員と部会長は会長が指名できることになっています。

部会長には引き続き部会長をお願いしたいと考えておりますが、毎年継続して行われる選考作業ということで、できる限り多くの委員の方に提案型協働事業の選考に関わっていただきたいと考えております。

選出母体や、新規に委員になられた方のバランスを考えると、今回は奥村委員と草郷委員をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(事務局) 時間は、午後1時にお集まりいただきまして、その後、選考や評価作業等をしていただくと、午後5時頃までかかってしまうと思います。

細かい事業内容や、当日の流れについては、改めて部会員の方にお伝えさせていただきます。

(部会長) それではお忙しい中申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

#### (4) 平成28年度協働事業等調査結果について

(会長) 続いて、議題4「平成28年度協働事業等調査結果について」事務局から報告をお願いします。

(事務局) それでは、「平成28年度協働事業等調査結果について」、ご説明します。恐れ入りますが、資料5をご覧ください。

本調査は、地縁型活動団体、目的型活動団体、教育機関、企業・事業者と、市との協働状況に加え、後援及び政策形成への市民等の参画状況について、「府中市市民協働の推進に関する基本方針」に基づき、集計・整理したもので、平成25年度より調査内容を見直しつつ、継続実施してございます。

先に長谷部部会長よりご説明がありましたとおり、調査結果については、計画部会の中で、具体的にどのような事業が協働で行われているのかが知りたいというご意見がございましたことから、先行して計画部会に資料として提示いたしましたので、ご承知おきください。

なお、集計結果の概要でございますが、協働の形態が「事業協力（市民主催事業）」、「補助」、「共催」、「実行委員会・協議会」、「事業協力（市主催事業）」「委託」に関するものについては、138事業、144件でございます。

「後援・協賛」については、246件、市は164件、教育委員会は82件、政策形成過程への参画いわゆる審議会等については、75機関うち附属機関57機関、類似機関18機関、政策形成過程への参画、パブリックコメントについては、実施件数6件、提出人数累計27人、提出意見累計94件でございます。

なお、参考4で具体的な協働事業や、今回の調査の詳細を添付しておりますので、必要に応じてご確認くださいようお願いいたします。事務局からは以上でございます。

(会長) 説明が終わりました。こちらについては、どのような事業が協働で行われているかを把握するものと思いますので、必要に応じて内容をご確認いただくということで、ご質問等はよろしいでしょうか。

先程のヒアリング結果の記載で、協働の必要性をどう見るかということにも関わる部分ですので、確認していただければと思います。

(5) 市民協働の推進に関する条例の可否を含めた検討について

(会長) では、続いて議題5「市民協働の推進に関する条例の可否を含めた検討」について、取り扱いも含めて、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 第1回の会議で配付した資料に基づき、改めてご説明します。

「府中市市民協働推進行動計画」において、「条例を制定している先行事例について調査を行うとともに、その可否を含め、条例制定の課題等について研究」し、平成28年度には「調査・研究及び課題抽出」を、平成29年度には「制定に係る検討」を行う事となっております。

第1回の会議でもお伝えいたしました通り、府中市では、「情報公開条例」や「附属機関の設置等に関する条例」など、協働の条例を制定している他市では定められていない条例が個別の条例としてすでに定められていること、定義や役割分担などは、基本方針や行動計画、都市宣言等に定められておりますことから、協働に関する条例の可否を含め、委員の皆様にご検討いただければと考えております。

なお、昨年度の主な意見としては、条例を作る目的が分からない、条例を作るのであれば、議論としても重いので条例があれば行動が進むのかといったことも含めて作る意味を考えないといけないといった意見がございました。事務局からは以上でございます。

(会長) ありがとうございます。

今回検討事項も多く、時間的にも余裕がないため、第1回の資料を各自確認いただいた上で、条例の可否を含めた必要性や、条例を制定すること

のようなことが期待できるかなどについて、次回までの宿題とし、次回改めて扱わせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、用意した議題は終わりました。特に、部会の検討事項については他期間にわたり、検討していただき部会員の方々には、大変感謝申し上げます。

(6) その他

(会長) それでは、議題6のその他として事務局から何かありますか。

(事務局) 事務局から、1点、次回の会議の日程についてです。

8月17日(水)午後2時から、北庁舎3階第4会議室で行います。

内容といたしましては、4点ございまして、1点目が平成28年度協働事業等評価結果答申(案)の確認について、2点目が平成30年度提案型協働事業の答申(案)について、3点目が市民協働推進行動計画中間見直し(案)について、4点目が協働に関する条例検討結果答申(案)です。事務局からは以上でございます。

(会長) 次回は8月17日(水)午後2時からということで、議題についても紹介がありました。今日の参考資料1として入っている、答申(案)について、今日の資料では昨年度の評価の部分が入っていますが、これが新しく置き換わりますが、資料についても、お時間のある時に目を通していただけたらと思います。

他になれば、以上をもちまして、閉会いたします。お疲れさまでした。

以 上